

2019年9月30日

各位

住友金属鉱山株式会社

## 「住友金属鉱山 統合報告書 2019」の発行について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長 野崎明）は、ステークホルダーの皆様へ、SMMグループがめざす“持続的な成長と企業価値の最大化”へ向けた取り組みについて、より一層ご理解いただけるよう、住友金属鉱山 統合報告書 2019 を発行いたしました。

### 「住友金属鉱山 統合報告書 2019」の特徴

2016年から4回目の発行となる本報告書では、論理的な情報の整理と簡潔なストーリー展開をめざし、ステークホルダーの皆様へのさらなるご理解に寄与し、判読性に優れた利便性の高いツールとしての完成度向上を図りました。

構成上の主な変更点としては、①イントロダクションにて過去から現在にわたる当社の価値観、企業価値向上の歴史およびその中で培われた競争力の解説、②特集として本年公表した「2018年中期経営計画」の掲載とともに事業リスクおよび機会と中計の基本戦略との関係の解説、③特定している重要課題の背景を経営課題やリスクなどの視点から解説、④アウトカム、競争力、3事業連携の位置付けをより明確にしたうえで価値創造モデルおよびビジネスモデルのデザインの一歩、⑤新たにサプライチェーンマネジメント、人材マネジメントの開示を追加するとともにコンプライアンスページでの腐敗防止への取り組みの掲載となります。

なお、本報告書の作成にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)の国際統合報告フレームワークを参考にしています。また、サステナビリティ報告の開示情報については、GRIサステナビリティ・レポート・スタンダードの中核(Core)オプションに準拠するとともに、その自己宣言およびパフォーマンスデータ等に対する第三者保証を受けています。

今後とも、当社グループがめざす“持続的な成長と企業価値の最大化”への取り組みをよりご理解いただけるよう、公平、適時、適切な情報開示に努めてまいります。

※GRI : Global Reporting Initiative の略。

サステナビリティ報告書の国際的なガイドラインの作成・普及を目的とした団体。

以上